

WEB SITE

新基本構想・新中期計画の進捗状況を
 ウェブサイトで公開中



本サイトでは、これまでの新基本構想策定に至る経過や、
 新中期計画の具体的な取り組みを紹介しています。
 また、「ミッションステートメント」や「スクールモットー」のページでは、
 それぞれの解説や関連文書のほか、
 創立者ランバスやベーツ第4代院長の紹介を掲載しています。



関西学院公式Facebook

開学に関するニュース、四季折々のキャンパス風景、
 学内行事の紹介など、
 日々のさまざまな出来事を配信しています。
 さあ、あなたも左の二次元コードを携帯・スマートフォンから読み取り、
 「いいね!」を押して開学ファンに!

新中期計画進捗報告

Progress Report of the New Medium-term Plan
 2009 - 2013

Progress Report of The New Medium-term Plan 2009-2013

2012 July

New Strategic Plan

新基本構想

関西学院は、2009年を起点として10年後を見据えた「新基本構想」を策定しました。
 新基本構想では、長い歴史の中で共有してきたミッション（使命）と
 スクールモットー “Mastery for Service” の現代的意味を再確認した上で、
 今後10年間（2009～2018）で到達すべき目標を6つのビジョンとして定めました。
 2009年度からは、ビジョンを実現するための具体的な施策である
 「新中期計画」に沿って、事業を展開しています。
 現在は、前半5年間（2009～2013）の計画を進めており、
 125周年にあたる2014年度からは、後半5年間（2014～2019）の計画がスタートします。
 新基本構想の実現に向けては、成果検証を行いながら適切にPDCAサイクルを回し、
 計画のプロセスや進捗状況など積極的な情報公開に取り組んでいます。

Mission Statement

関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」として、
 ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見出せるよう導き、
 思いやりと高潔さを持って社会を変革することにより、
 スクールモットー “Mastery for Service” を体現する、
 創造的かつ有能な世界市民を育てることを使命とします。
 Kwansai Gakuin, as a learning community based on
 the principles of Christianity,
 inspires its members to seek their life missions,
 and cultivates them to be
 creative and capable world citizens
 who embody its motto, “Mastery for Service,”
 by transforming society with compassion and integrity.

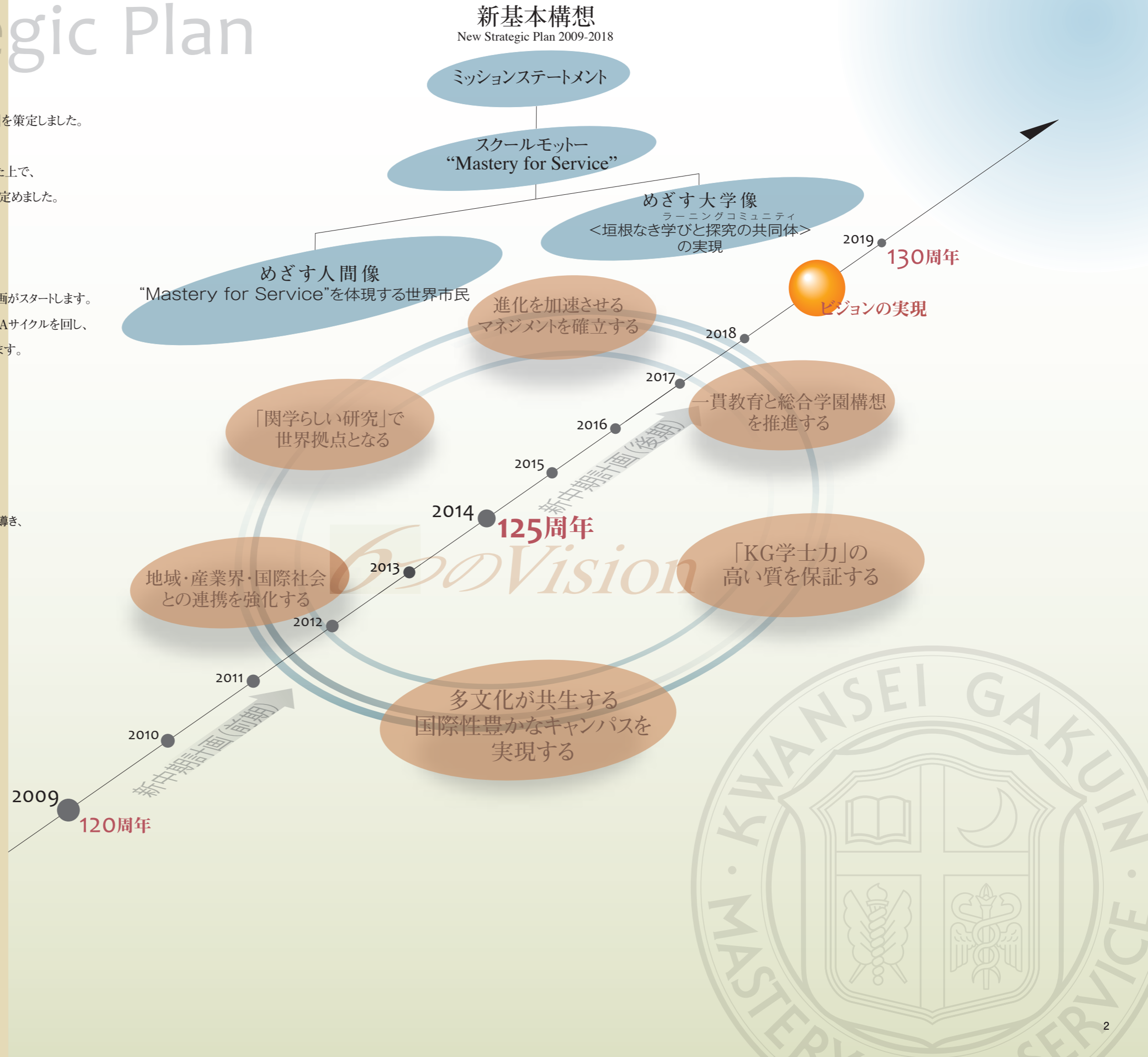
School Motto

“Mastery for Service”

関西学院のスクールモットー “Mastery for Service” は、
 「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため、
 自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。

“Mastery for Service,” the school motto of Kwansai Gakuin
 reflects the ideal for all its members
 to master their abundant God-given gifts
 to serve their neighbors, society and the world.

※ “Mastery for Service” は、C.J.L. ベーツ第4代院長が1912年に高等学部長に就任した際に
 提唱したもので、その後、関西学院全体のスクールモットーになりました。



新中期計画について

新中期計画は、新基本構想で定めたビジョンを実現するための具体的な施策をまとめたものです。
ここでは、前半5年間(2009～2013)で取り組むべき各施策について、
ビジョンごとの主な進捗状況を紹介いたします。

Vision 多文化が共生する国際性豊かなキャンパスを実現する

大学の世界展開力強化事業を推進—Cross-Cultural College—

平成23年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業(タイプB)」における「日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム『クロス・カルチュラル・カレッジ』」の採択を受けて、世界的な名門校であるカナダの3大学(マウント・アリソン、クイーンズ、トロント)との合同プログラムを展開しています。

カナダの3大学と関学

Cross-Cultural College (CCC) とは、カナダの3大学(マウント・アリソン、クイーンズ、トロント)と関西学院大学が協働し、両国の学生が寝食をともにしながら課題の発見・解決に向けて協働する科目群などにより、グローバル社会を発展・成長させる世界市民リーダーズを育成するプログラムです。



最終目標

Overall Objective
日本とカナダを、持続的発展が可能な創造力と活気あふれる社会に転換する人材に。

カナダ3大学 + KG学生対象

CCC Certificate Program

[CCC 修了証プログラム(CP)]

多文化共生論や国際関係論などの基幹科目と、日加両国の学生混成型の合同ゼミや国内外でのインターンシップ等の実践的な科目(CP Core Courses)が必修、共同作業を通じて高度な異文化理解・コミュニケーション力を身につけます。使用言語はすべて英語です。



for Students from KG

国際コミュニケーション力、論理的かつ実践的な分析力、国際的な場での高度な課題発見・解決能力を養います。

CCC Certificate [Certificate of Completion] Certificate Program 科目16単位 + TOEIC820点相当以上



for Students from the Canadian Universities

カナダにとっての新フロンティア「アジア」との共生・協働を実現できる国際理解力・行動力を養います。

Certificate of Completion 16 credits

KG学生対象 (2012年度入学生から対象)

MDS Program

[MDS(複数分野専攻制)専用特別プログラム]

Only for Students from KG

CPをめざす関学生のために「国際ビジネス」「国際協力・行政」「国際学・地域研究」の3プログラムを用意しています。

- 国際社会の教養を「共通科目」で、専門的な知識を「専攻科目」で学びます。
- 英語研修や英語中期留学、交換留学などの留学または国際交流による科目を必修とし、国際体験・学習を通して、異文化社会について理解を深めます。
- ネイティブ教員による「English for CCS」など実践的な英語力養成プログラムを通して、カナダの学生とともに学べる英語運用能力を身につけます。

複数分野専攻制(MDS)修了証書 [Only for KG Students] Certificate Program科目16単位 + MDS Program 科目16単位

詳細はホームページ参照 <http://ccc-canada.jp/>

国際戦略本部

「多文化が共生する国際性豊かなキャンパスの実現」に向けて、国際戦略本部が本学の国際化施策全般の企画・立案・実行を担っています。2012年度からは、前在ドイツ日本国大使が国際戦略本部長(担当副学長)に就任しています。

国際戦略本部

- ネットワークの拡大
- 新規プログラムの企画立案、導入
- 国際化推進人材の開発施策の立案

世界との共生をめざす 関西学院大学

世界との連携および国際貢献の実践を強化

- 海外との連携交流ネットワーク構築の推進
 - ・海外協定大学の増加
 - ・海外拠点の設置、整備
 - ・海外客員教員制度の見直し
 - ・海外広報の拡充
 - ・海外協定大学とのダブルディグリー制度の拡充(学部・大学院)
- 国連および国際機関・国際NPO/NGO法人との連携強化

世界に開かれた 関西学院大学

異文化を理解し、多文化との共生が可能な力を身につけられるキャンパスに

- 英語による授業提供および学位を授与する体制の整備
 - ・英語のみで学位がとれるコースの設置
 - ・英語による授業提供の拡充(全学部)
 - ・日本・東アジア研究プログラムの拡充
- 留学生の受け入れの推進
 - ・交換留学生、正規留学生(学部・大学院)の受け入れ拡大
 - ・留学生の経済的支援の拡充
 - ・留学生宿舎の確保
 - ・留学生総合支援体制の整備
- 学生の海外派遣の推進

海外拠点(中国 吉林/カナダ トロント)

中国(吉林大学内)とカナダ(トロント/ビクトリア大学内)に海外拠点を設置しました。

留学生や研究者のリクルート活動、現地に留学している学生・教職員への活動支援をはじめ、国際的な産官学民連携や諸大学との研究交流の場として、幅広く活用しています。

中国(2009年5月設置)
関西学院大学吉林オフィス
(吉林省 長春市 吉林大学内)



- 国際的な産官学民連携
- 留学生のリクルート活動
- 吉林大学をはじめ中国の諸大学との研究交流
- 吉林大学側も西宮上ヶ原キャンパスに拠点を設置。双方で研究・教育面での更なる連携や交流を推進。

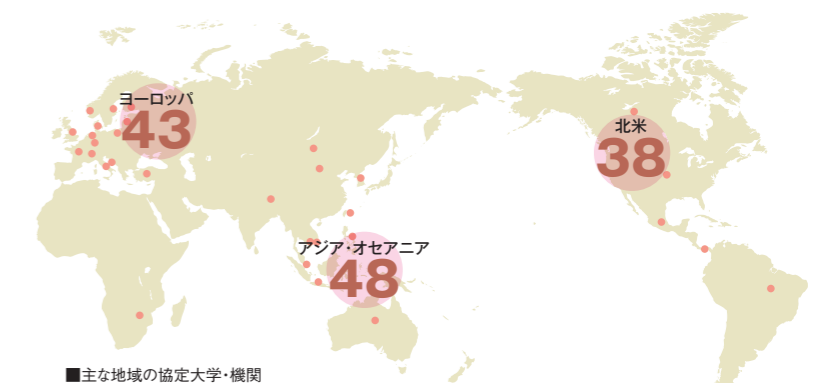
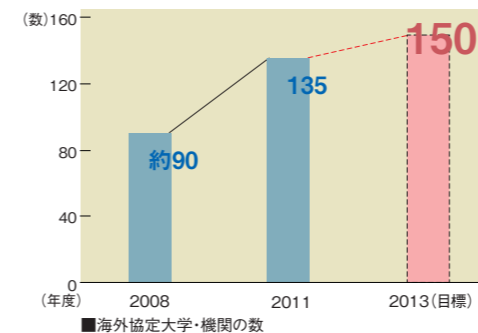
カナダ(2009年7月設置)
関西学院大学トロントオフィス
(オンタリオ州トロント市・トロント/ビクトリア大学内)



- 2011年度～▶専任職員1名を配置
 - 留学中の学生や教員の支援
 - 留学生や海外研究者への広報・リクルート活動
 - 現地の教育研究事情に関する情報収集

海外協定大学を増加 34カ国135の大学・機関と締結 (2012年3月現在)

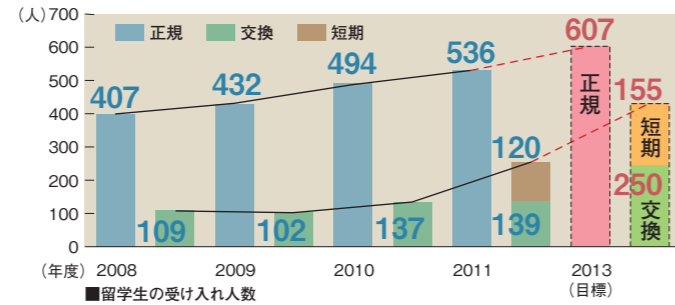
2012年3月現在、海外協定大学の数は34カ国135大学・機関に上っています。



多文化が共生する国際性豊かなキャンパスを実現する

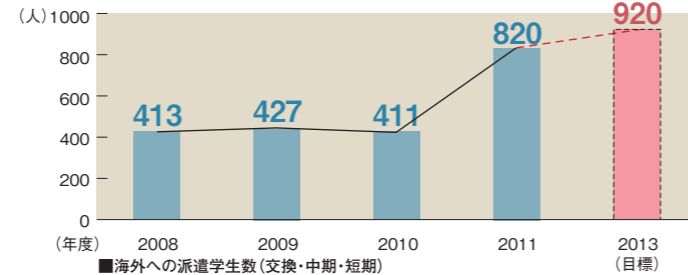
留学生(正規・交換・短期)の受け入れを拡大

海外協定校や海外関係機関との連携、海外推薦入試制度や英語による授業提供の拡大などによって、留学生の受け入れを拡大しています。



海外への学生派遣を拡大

国際学部の留学制度や国際教育・協力センターが提供する留学プログラムの充実などによって、海外に派遣する学生数は飛躍的に増加しています。



英語による授業のみで学位が取得できるコースを設置

英語による授業のみで学位が取得できるコースを順次設置して、留学生の増加への対応と、卒業後に海外で活躍できる日本人学生の育成を推進しています。

国際学部 2011年度コース設置
理工学研究科 2012年度コース設置



海外協定大学とのダブルディグリー制度*を拡充

社会学部では、カナダ/マウント・アリソン大学との間で協定を締結しており、2012年度秋学期から、本制度を利用した最初の学生が同大学で学ぶ予定です。国際学部でもカナダ/マウント・アリソン大学とオーストラリア/クイーンズランド大学との間で協定を締結し、2012年度入学生から制度が適用されています。

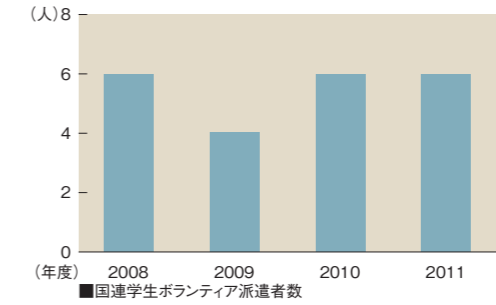
*ダブルディグリー制度
海外の大学との間で、教育課程の実施や単位互換等について協議し、双方の大学がそれぞれ学位を授与する学修プログラム。



カナダ/マウント・アリソン大学

国連学生ボランティア派遣日本センターを設置(2012年度予定)

国連学生ボランティア派遣業務を中心とした国際協力教育の中心拠点(国連との交渉窓口など)を設けます。(2012年度開設予定)



世界12カ国に派遣

● スリランカ	● キルギス
● モンゴル	● ガーナ
● ベトナム	● マラウイ
● ネパール	● ドイツ
● フィリピン	● フィジー
● マダガスカル	● サモア

留学生宿舎を拡充

2011年度は阪急・JR宝塚駅付近に全33室の専用宿舎を設けました。2012年度は阪急西宮北口駅付近にも新たな宿舎を用意しました。



KGU International Residence II (宝塚市)



KGU International Residence III (西宮市)

奨学金を充実—留学生への経済的支援、留学奨励奨学金など

国際化関連の奨学金(外国人留学生奨学金・ダブルディグリー制度奨励奨学金・交換留学奨学金・中期留学奨学金・国連学生ボランティア奨学金など)を大幅に拡充しています。



日本語教育センター、留学生総合支援課の機能強化

短期留学生の受け入れ拡大や、留学生のサポート強化に向けて、日本語教育センター及び留学生総合支援課のスタッフを充実するなどして、機能強化に取り組んでいます。




Vision 「KG学士力」の高い質を保証する

「KG学士力」

KG学士力は、関西学院大学の学生が「Mastery for Service」を体現する世界市民となるために、卒業時に学部の区別なく共通して身につけておくべき知識・能力を定めたものです。各学部は、「KG学士力」と関係づけて、学部の具体的な人材育成の目標である「ディプロマ・ポリシー (DP=学位授与の方針)」と、「カリキュラム・ポリシー (CP=教育課程の編成・実施の方針)」を策定・公表しています。

“Mastery for Service”を体現する世界市民をめざし、キリスト教主義教育をとおして、世界への視野、幅広い知識、深い専門性、豊かな人間性と自らを律する強さを身につけ、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くために貢献しつづける力。

- 【関心・意欲・態度】自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢**
 - 自らを律する強さを持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
 - 世界への視野をもって、社会への深い関心を抱き、生涯にわたって学び、考えていく意欲を持っている。
- 【知識・理解】幅広い知識と深い専門性**
 - 社会、文化、人間、自然についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
 - 専攻分野の知識を体系的・構造的に理解し、その分野に固有の視座や思考方法を身につけている。
- 【技能・表現】実践的な学習技能とコミュニケーション力**
 - 情報収集力、データ分析力、論理的思考力、表現力などの技能を身につけている。
 - 日本語と特定の外国語をもちいて、他者と円滑にコミュニケーションできる力を身につけている。
- 【思考・判断】課題解決のための総合的思考・判断力**
 - 現代社会における課題に取り組むための課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。



「KG学士力」は、キリスト教主義に基づく本学の学部教育、それらを補完する全学科目によって育まれるとともに、学生生活 (正課外教育や課外活動等) を通してさらに深化・強化されるものです。

高等教育推進センターの取り組み

「高等教育推進センター」は、「KG学士力」の高い質を保証するための重要な役割を担う組織として、全学的な教育力向上に取り組んでいます。

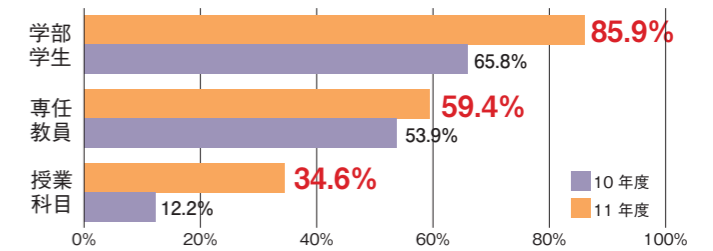
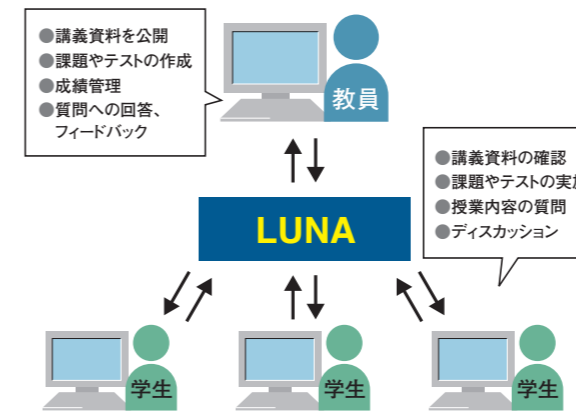
主な活動内容

- 1 本学の教育推進に資する施策の企画・立案
- 2 教育力向上 (FD) に関する全学的方針の立案及びそれにもとづく施策の推進
- 3 情報通信技術 (ICT) を活用した教育の開発・支援及び教育環境の整備・充実
- 4 授業に関わるTA・LA等の教育力・指導力向上への支援
- 5 高等教育に関する調査・研究
- 6 センター紀要、技術資料等の発行



教授者—学習者支援システム「LUNA (ルナ)」の活用

世界の大学でもっとも多く導入されているブラックボード社のラーニング・マネージメント・システム (LMS) を導入しています。教育のICT化を推進する中核システムとして、授業支援や教員—学生間の円滑なコミュニケーションに役立てています。



各グラフの意味

学部学生	期間内にLUNAにアクセスした学部学生数と在籍学生数の比率
専任教員	LUNAを利用した専任教員数と全専任教員数の比率 (LUNAの利用とは「お知らせ・教材・掲示板」のいずれかを利用していること)
授業科目	LUNAが活用されている授業科目数と開講されている全授業科目数の比率 (LUNAの活用とは教材がアップロードされている、もしくは、お知らせ・掲示板を授業の運営に役立てていること)

英語力の飛躍的向上—英語教員の充実による言語プログラムの拡充—

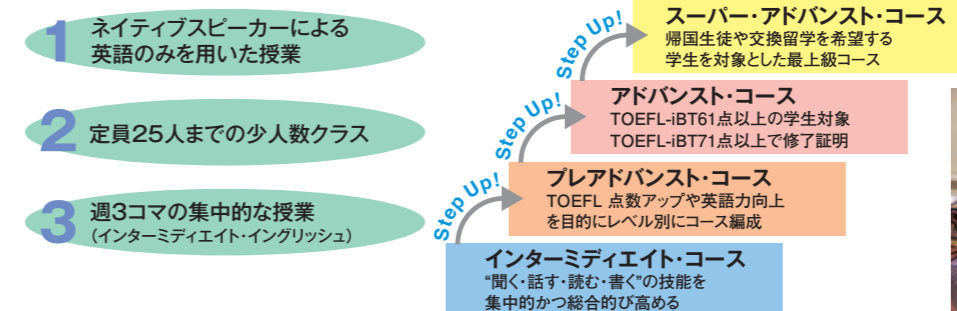
ネイティブスピーカーの言語特別契約教員を2012年度～2015年度にかけて計10名採用し、インテンシブ・プログラムやMDSなどさまざまな言語プログラムを大幅に拡充・強化します。



英語教育プログラムの開発 (計画中)

- 1 インテンシブ・プログラムやMDSなど既存プログラムの大幅な拡充
 - 各種言語プログラムの拡充や再編
- 2 教職員 (含大学院生) を対象とした英語活用支援
 - 教員・大学院生対象の英語論文作成支援
 - 教職員に対する英語運用能力養成講座の開設
- 3 学部学生を対象とした英語活用支援
 - フリートーキング (コーヒータワー) 機会の設定
 - 留学から帰国した学生の語学カキープの機会設定
- 4 入学前英語教育
 - 入学前の段階から、英語への学習意欲を高めるプログラムを実施
- 5 社会貢献・地域連携英語教育
 - 中高英語担当教員対象の夏期セミナーの展開
 - 学部学生対象の夏期セミナーの展開
 - 大学の世界展開力強化事業 (Cross-Cultural College) の推進

英語インテンシブ・プログラムの特徴



「KG学士力」の高い質を保証する

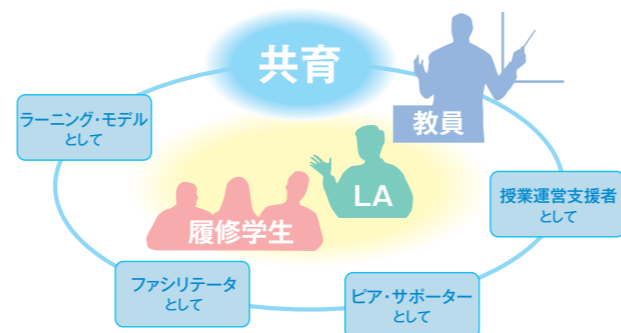
学生共同学習スペースを整備拡充

学生が教え合い学び合うとともに、大学院生、教職員と触れ合える空間を拡大するために、西宮上ヶ原キャンパスでは、共同学習スペースを組み込んだ「H号館(仮称)*」の建設が予定されており、神戸三田キャンパスでも「KSC commons(仮称)*」を建設中です。
*H号館(仮称)は2014年度供用開始、
*KSC commons(仮称)は2013年度供用開始(いずれも予定)



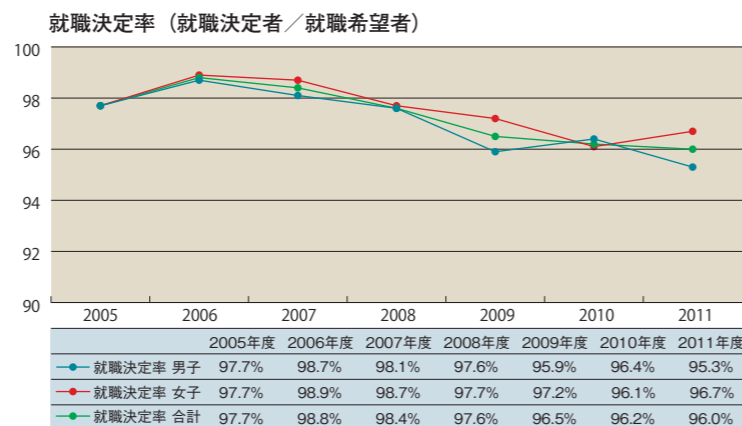
ラーニング・アシスタント制度を導入

学部の上級生が下級生の学習をサポートするなど、学生同士が教えあい、学びあえる「共育」の環境づくりをめざして、2012年度秋学期から、全学的なラーニング・アシスタント(Learning Assistant, L.A.)制度がスタートします。ラーニング・アシスタントとなる学生は、実際の授業の場面で学習支援や授業運営補助の業務をとおり、教育の活性化や高度化に寄与します。



キャリア教育を充実

卒業生4,000人以上の総合私立大学において4年連続就職率No.1の実績を活かし、正課として「インターンシップ」科目の拡充や「キャリアゼミ」の充実、正課外として個人面談、面接対策セミナーの充実などによるキャリア形成支援の充実に取り組んでいます。



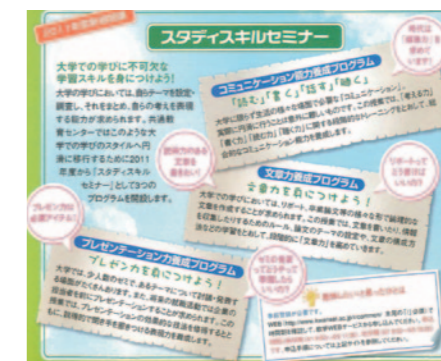
正課教育と課外活動との両立を促進 / 課外活動支援・応援を強化

学問とスポーツ・文化活動の両立を大事にする関西学院院として、スポーツ選抜入試合格者全員に対して、通信教育による入学前教育を実施しています。他大学や社会人、あるいは国際的な交流を促進するため、課外活動への支援を強化します。また、課外活動を通じて同窓や在学生が互いに喜び、感謝し合える環境の構築をめざし、応援への支援を強化します。



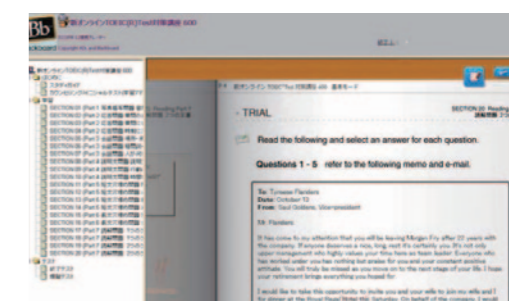
初年次教育科目「スタディスキルセミナー」を拡充

全学の共通教育を統括・推進する「共通教育センター」では、2012年度から初年次教育科目である「スタディスキルセミナー」を拡充しています。



英語自習のためのeラーニング教材

授業時間以外でも英語を学習できる「eラーニング教材」は、TOEIC講座の練習問題、模擬テスト、問題解決の詳細な解説など多彩な機能が盛り込まれており、英語授業を履修している全学部学生が利用できます。



入学者追跡調査・入試制度評価を実施

入学試験がアドミッション・ポリシーに基づいて、目的通り適正に実施されているかを検証するために、入学者追跡調査システムを使って、入試制度毎の入学後の学業成績、就職状況、留年率、学生活動、課外活動の状況の調査・分析を行っています。

総合支援センターを設置

2011年度に設置された「総合支援センター」では、障がいをもつ学生が他の学生と同じようにキャンパスで学べるための就学支援や、学生生活上のさまざまな悩みや問題について専門カウンセラーが常時相談に応じるなどの学生生活支援を行っています。

清風寮(女子寮)の建て替えを検討

清風寮(女子寮)の建て替えに向けて、新基本構想推進委員会の下のワーキング・グループにおいて詳細を検討しています。

総合的學生支援を立案・推進する枠組みを整備

入学から学生生活を経て卒業後の進路に至るまでの一連の情報を集約して統計的に分析し、その結果に基づいて多様な側面から総合的な学生支援策を推進する枠組みを検討中です。

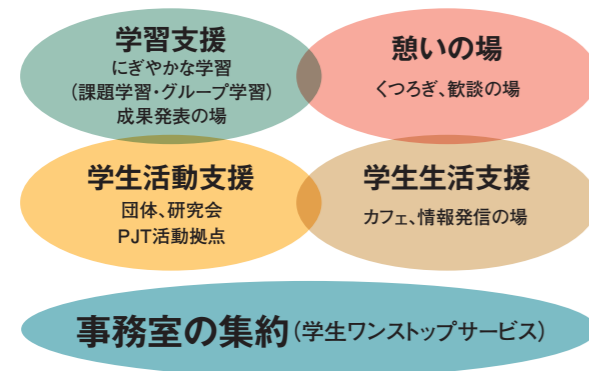
Vision 一貫教育と総合学園構想を推進する

神戸三田キャンパス(KSC)の活性化



KSC commons (仮称) を建設 — 2013年4月完成予定 —

神戸三田キャンパス(KSC)のほぼ中心に、「勉学+憩い+学生活動の融合」をコンセプトとした、新しいスタイルの施設「KSC commons (仮称)」を建設しています。施設内には、グループ学習・各種学生プロジェクトを支援するスペース、自由にくつろげるカフェスペースなどを設け、更に全学的な事務機能の集約やバスロータリーを隣接させることで、キャンパスで最も学生が集まる場所となるように計画中です。



理系分野を強化・充実

理工学部を強化・充実し、真にバランスの取れた総合大学への発展、より強力な科学技術の分野からの社会貢献、幅広い科学技術分野への人材の輩出などをめざします。

外国人研究者用ドミトリーを整備

神戸三田キャンパスに在籍する博士研究員(外国人研究者)のためのドミトリー(借用住宅)を順次確保し、2015年度までに最大計20室を用意します。

教育連携室による総合学園の縦横関係の教育連携を推進

教育連携室と教育連携会議を核として、関西学院の一貫教育も含まれた総合学園としての縦横関係の教育連携を展開しています。

同窓会・後援会との連携強化

同窓会と一体となって教育フォーラム・講演会の開催、同窓会ネットワークの拡大、保護者交流会などを展開しています。同窓会並びに後援会との連携強化を図る目的を持つ本施策は、125周年記念事業とも密接に連携しながら取り組んでいます。

Vision 「関学らしい研究」で世界的拠点となる

研究コーディネータ機能を強化

研究に関する情報の国内外への受発信や学外資金の情報収集と分析、研究活動の企画立案などを政策的に支援する研究コーディネータ制度を実施しています。

研究統合データベースの整備を計画

各教員の研究業績や教育実践上の業績、職務上の実績、社会貢献活動の実績などを外国語版を含めた統合型データベースにして発信できるよう、新たなシステム開発・設計を計画中です。

大学院教育の充実

大学院海外研究助成金制度の新設や、各種奨学金制度の充実などによって若手研究者の育成、大学院進学希望者への支援強化を進めています。



Vision 地域・産業界・国際社会との連携を強化する

研究推進社会連携機構 社会連携センターの活動整理と機能強化

スクールモットー“Mastery for Service”や総合大学の強みを生かした「組織的」「総合的」「学際的」な取り組みの更なる強化・推進をめざします。



Vision 進化を加速させるマネジメントを確立する

学院・大学のガバナンス改革を検討中

ガバナンス改革に向けて、大学では、執行体制及び組織改編の学長提案がまとめられました。本内容は、大学の各組織を機構化して大括りするとともに、学院・大学の執行体制を一体化して迅速な意思決定をめざすものです。現在、理事長・院長・学長の3者会議を中心に本内容を具現化するための検討を進めています。

専任事務職員の新人事評価制度を導入

2011年11月から、新職員人事制度に移行し、2012年4月から、新研修制度がスタートしています。

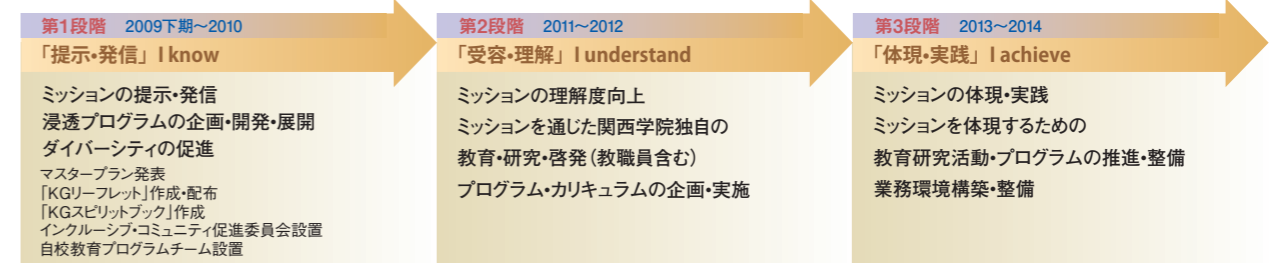
強固な財務基盤の確立

新基本構想を実現するための財源確保と、学院が持続的に発展するための強固な財務基盤の確立を目的に、理事長を本部長とする、法人と大学が一体となった「財務・業務改革本部」を設置し、財政計画の見直しと財務改革・業務改革の推進に取り組んでいます。



ミッション浸透に向けた取り組み

グローバル院長をコンピナーとするミッション展開推進委員会では、「ミッション浸透マスタープラン」に基づいて創立125周年にあたる2014年度までに学内外へ関西学院のミッションを伝え、共有していく活動を進めています。



KGスピリットブック「輝く自由 関西学院 その精神と理想」を作成

KGスピリットブックには、創立者ランバスの生涯、建学の精神、スクールモットー、ミッションステートメントの解説など本学の歴史や核となる価値観がまとめられています。関西学院に集うすべての人々が、建学の精神をいつでも身近に感じ、共有できるようになっています。

また、教職員、同窓が本学のミッションステートメント、スクールモットー、めざす人間像などをいつでも確認・携帯できるよう名刺サイズに折りたたむことができる「KGリーフレット」を作成しています。



「世界市民」ブランド広報を展開

関西学院は、2011年度から「世界市民」をキーワードとしたブランド広報を展開しています。



阪急電鉄 西宮北口駅構内(卒業式広告)



朝日新聞・日本経済新聞(卒業式広告)

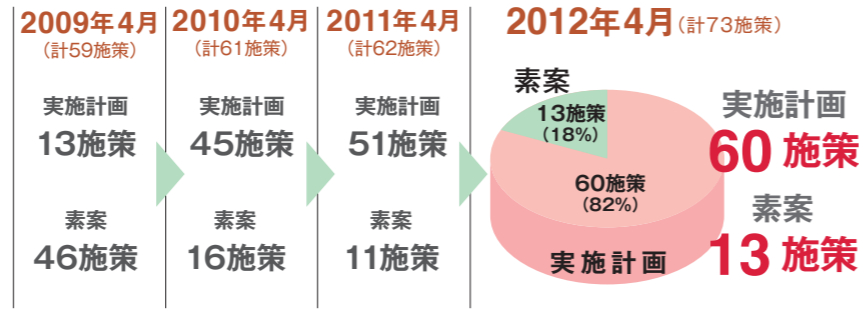


西宮上ヶ原キャンパス(入学式)

73施策の進捗状況 (2012年4月現在)

実施計画/素案

新中期計画の各施策は「実施計画」と、検討継続を意味する「素案」によって構成されています。実施計画は2009年4月から順次実施・展開されており、素案は示された概要（方向性）、検討体制、ロードマップに基づき引き続き検討を継続しながら順次実施計画へと移行されます。



注：以下の進捗管理（工程段階、順調/遅延）は、右下の基準を参考に各担当部門が主体となって評価したものです。

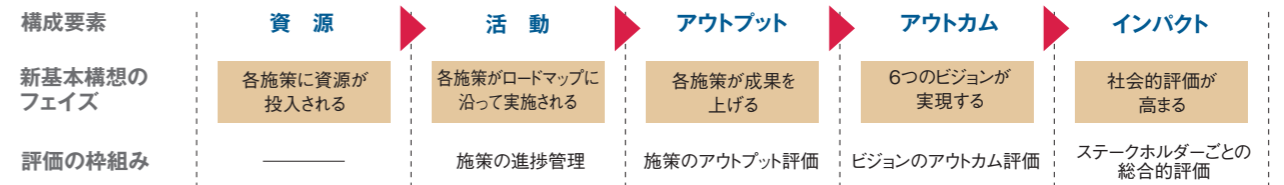
内容	施策	素案/実施計画	工程段階					順調/遅延	内容	施策	素案/実施計画	工程段階					順調/遅延
			20%	40%	60%	80%	100%					20%	40%	60%	80%	100%	
教育	[KG学士力]定義	実施					順	国際化	海外広報の拡充	実施					順		
	全学共通教育プログラムの創設	実施					順		海外協定大学とのJD/DD制度の拡充	実施					順		
	英語力の飛躍的向上	実施					順		国連NPO/NGO法人等との連携強化	実施					遅		
	語学教育の全学提供化	素案					遅		英語のみによる学位コースの設置	実施					順		
	履修単位数制限、成績評価の厳格化	実施					順		英語による授業提供(全学部)	素案					遅		
	MDS、JD制度の拡大	実施					遅		日本・東アジア研究プログラムの拡充	実施					順		
	ディプロマ・ポリシーの定義と質保証システムの構築	実施					遅		交換留学生受け入れの拡大	実施					遅		
	全学共通プログラム推進組織の設置	完了					順		学部正規留学生受け入れの拡大	実施					順		
	高等教育推進センター設置	実施					順		大学院正規留学生受け入れの拡大	実施					順		
	ST比の改善策の検討	素案					遅		9月入学と3.5年卒業制度の確立	素案					遅		
	TA、LA制度の検討と立案	実施					遅		留学生経済的支援の拡大	実施					順		
	全学的な学生共同学習スペースの確保	実施					順		日本語教育センターの創設	実施					順		
	総合的支援策の立案組織と仕組みの設計	実施					遅		留学生宿舎(借り上げ)	実施					順		
	課外活動団体の交流促進	実施					遅		留学生宿舎(建築・買上)	実施					遅		
	課外活動応援への支援の強化	実施					順		留学生総合サポートセンター室の設置	実施					遅		
	指導者の雇用体制および指導環境の確立	素案					遅		海外への学生派遣の推進	実施					順		
	正課教育と課外活動との両立の促進	実施					順		一貫性と内実性を備えた学校体系	完了					順		
	寄宿舎(寮)関連施設の整備検討	素案					順		同窓会・後援会との協力関係強化	実施					順		
	支給奨学金の拡充/貸与奨学金の目的特化	実施					順		KSC戦略本部の設置	実施					遅		
	キャリア教育の充実	実施					順		KSC統一コンセプトの立案・発信	実施					遅		
総合体育館・学生課の窓口統合	完了					順	理系分野の強化・充実策の検討	実施					順				
総合体育館・旧学生会館建て替え又は改装	素案					順	キャンパス全体のゾーニング	実施					遅				
キャンパス自立支援課・学生支援センター統合	完了					順	KSCコンソス(仮称)の建設	実施					順				
ICT	教育のICT化の政策提言能力を持った組織の強化	完了					順	ドミトリーの設置	実施					遅			
	LMSの導入・運用	実施					順	KSCに特化した奨学金	実施					遅			
	ポータルサイトの構築	実施					遅	交通アクセスの整備	実施					遅			
	e-Portfolioと学習到達度自己評価システムの構築	素案					遅	託児施設の誘致	素案					遅			
研究	e学生台帳の導入	素案					遅	その他アメニティ向上策の検討	素案					遅			
	研究コーディネータ制度を導入	実施					遅	新たなガバナンス体制の構築検討	素案					遅			
	研究統合データベースの整備	実施					遅	現行人事制度(職員)の再構築	実施					順			
連携会	大学院教育の充実	実施					順	人事評価制度(教員)の検討	素案					遅			
	社会連携センター機能強化策	実施					遅	ミッション展開プロジェクトチームの設置	完了					順			
	国際戦略本部の設置	実施					順	ミッション浸透策のマスタープラン立案と推進	実施					順			
	大学の世界展開力強化事業の推進	実施					順	ブランド戦略の明確化	実施					順			
	海外協定大学の増加	実施					順	新基本構想の広報	実施					順			
国際化	海外拠点の設置	実施					順	入試施策の充実	実施					順			
	海外客員教員制度見直し	実施					遅										

■工程段階(構想から実施までのどの段階にあるか)・・・20%:構想段階 40%:素案として承認 60%:実施計画として承認 80%:プログラム、制度、施設等の具体的計画が完成、または施策を構成する個別計画のうち半分以上が100%到達 100%:プログラムの開始、制度の創設、組織の設置、施設の完成、具体的計画の学内委員会等の承認、または施策を構成する個別計画のすべてが100%達成、または個別計画の年度ごとの数値目標が設定されている。 ■順調/遅延(計画どおり順調に進んでいるか)・・・順調:計画したロードマップどおり進捗している 遅延:計画したロードマップに比べて遅れている

成果検証の取り組み

新基本構想・新中期計画では、各施策やビジョンに検証可能な指標・目標を設定し、年度ごとの推移や変化を定期的に確認しながら、計画通りに進展しているか・掲げた目標が達成されているかを点検しています。こうした成果検証を通じて、発展への循環過程であるPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルの強化に取り組みます。

成果検証のロジックモデル



施策の進捗管理 = 工程段階(5段階評価)と順調/遅延

構想から実施までのどの段階にあるかの評価

施策	具体的プログラム	進捗管理					簡単な説明
		工程段階					
		20%	40%	60%	80%	100%	順調/遅延
学部正規留学生受け入れ							○
1	海外からの推薦入試制度の設置						○
2	日本語学校等との連携						○
3	海外からの書類選考による受け入れ						○

イメージモデル(国際化)「学部正規留学生の受け入れの拡大」

施策のアウトプット評価

施策が何を生み出したか、どのように機能しているか、活用されているかなど直接的な「結果」の評価。

指標項目	指標の定義	アウトプット指標データ						
		目標値(達成年度)	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度
1	学部正規留学生の受入数(全学)	491(2013)	329	338	377	413		
2	海外提携校数(推薦入試)	8校(2011)	0	0	2	2	3	
3	海外提携校からの入学者数	15人(2011)	0	0	2	3	0	
4	日本国内の日本語学校等との連携強化	推薦入学制度導入学部数	1	1	2	2	2	

イメージモデル(国際化B-2-b)「学部正規留学生の受け入れの拡大」

ビジョンのアウトカム評価

「ありたい姿」「あるべき姿」に向けて、人や組織に変化が起きているか、高次な目的が達成されているかの評価。

目標達成の目安	定義/算式/測定方法	目標値	2009	2010	2011	2012	2013
成果指標1	外国人留学生の数	857(アウトプット指標による)	534	631	675		
成果指標2	派遣留学生の数	920(アウトプット指標による)	422	411	820		
成果指標3	派遣留学生の比率	大学に入学した学生が4年間に海外留学する可能性(確立)の近似値(算式) 当該年度の派遣留学生総数(成果指標2)÷当該年度の入学総数(1年生)	7.6%	7.6%	15.0%		

イメージモデル(国際化)ビジョン

全体のインパクト評価

多様なステークホルダーから総合的に高い評価を得ているか、社会的な価値と信頼性を高めているかなどの中長期的な評価。



関西学院全体の動き

関西学院は幼稚園、小学校、中学校(2校)、高等学校(2校)、短期大学、大学、大学院、インターナショナルスクールを擁する総合学園です。各学校では「Mastery for Service」を体現する世界市民の育成を強く意識し、国際性を備えた歩みを進めています。

各学校

聖和幼稚園

2009年4月、学校法人聖和大学との法人合併によって設置。120年を超える歴史を持つ幼稚園です。



初等部

2008年4月、宝塚ファミリーランド跡地に開校。国語理解を土台に据えた、関西学院ならではの英語・国際教育を実施しています。



中学部

「感謝・祈り・練達 With a thankful heart and prayer to achieve Mastery for Service.」の教育理念を掲げています。



高等部

伝統的に「自由と自治」を校風とし、キリスト教を通して豊かな人間性の形成に努めています。



千里国際中等部・高等部 大阪インターナショナルスクール

2010年4月、学校法人千里国際学園との法人合併によって設置。中等部・高等部は帰国生徒が多く在籍し、インターナショナルスクールは主に外国人生徒のための教育を行っています。



聖和短期大学

2009年4月、学校法人聖和大学との法人合併によって設置。保育者養成のパイオニアとして、長い歴史の中で多くの保育者を輩出しています。



大学

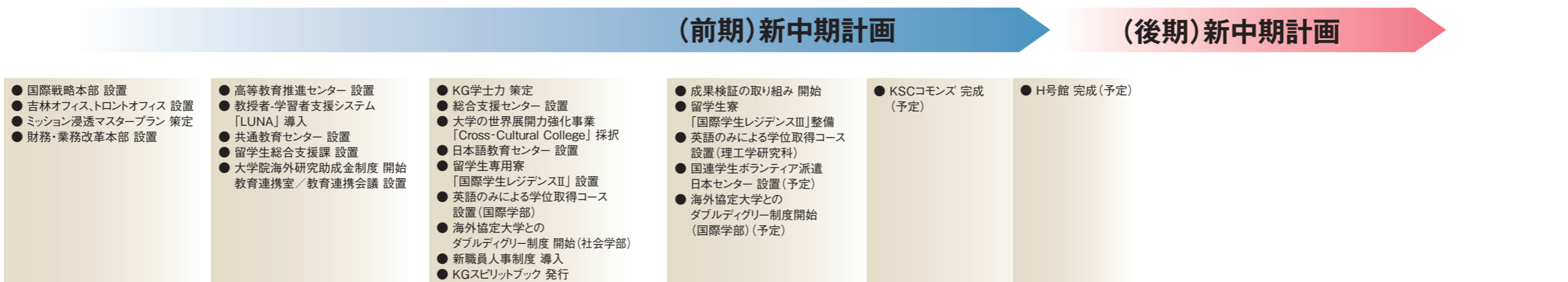
11学部と13研究科で構成される総合大学です。キリスト教主義に基づく「垣根なき学びと探究の共同体」をめざし、全人的な教育と創造的な研究により、有能にして心温かい世界市民を社会に送り出すことを使命とします。



関西学院の動き



新基本構想の取り組み



創立125周年記念事業

関西学院は、新基本構想の中間年にあたる2014年に創立125周年を迎えます。
新基本構想の実現に向けては、これまで紹介してきた新中期計画の活動に加え、
創立125周年記念事業としてもさまざまな計画が進行しています。



世界と もっと、つながる

記念国際交流・奨学事業

関西学院の高い国際性の加速及び世界中の優秀な学生に向けた多様な奨学支援活動の充実をはかり、未来に輝きをもたらす世界市民の育成を加速します。

●関西学院創立125周年記念 世界市民グローバルフォーラム 開催

“Mastery for Service”の実践を通して「世界市民」を体現している著名人を基調講演講師として招いてのフォーラム。
125周年記念講堂から関西学院の各学校及び世界各国の協定校をインターネット等で結び、リアルタイムで世界を舞台に開催します。

●グローバルリーダー育成奨学金 創設

世界各地に“Mastery for Service”の精神をもち、活躍するリーダーを育成します。

- 海外から、関西学院大学で学びの経験をもち、将来、世界各地でリーダーとなる留学生を関西学院大学大学院に受け入れる奨学制度。
- 関西学院大学から、優秀な学生を海外の大学院へ送り出す奨学制度。
- 関西学院の各学校における生徒・学生の受け入れ、送り出しの奨学制度も検討します。



もっと、つながる キャンパスへ

記念建設事業

●125周年記念講堂[2014年8月竣工予定]

関西学院の学校諸行事をはじめ、同窓会・後援会の各種行事の会場となる中央講堂を建替え。メインホールに加えて、在校生等の利用ゾーンを設け、日常の生活環境の改善と教育・研究活動の支援をはかります。



125周年記念講堂外観(イメージ)



125周年記念講堂メインホール(イメージ) 125周年記念講堂内学生ラウンジ(イメージ)

●スポーツ環境整備関連施設の充実

- 高等部体育館[2015年2月竣工予定/新築]
- 大学体育館[2015年9月改修工事完了予定]
- 中学部体育館[2011年3月竣工]

初等部の授業でも使用する室内プールを有する中学部体育館、高等部に隣接するゾーンに高等部体育館を建設。現在の総合体育館を大学専用施設として改修し、一貫教育の視点から教育活動の支援とスポーツ活動の振興をはかります。

●大学学生厚生施設の充実

- 西宮上ヶ原キャンパスH号館(仮称)[2014年2月竣工予定]
- 神戸三田キャンパス、KSC commons(仮称)[2013年3月竣工予定]

●高中部教育環境整備関連施設の充実

- 中学部教室棟[2011年3月竣工]
- 高等部特別教室棟[2012年2月竣工]

関学らしさで もっと、つながる

「関西学院 ミッション浸透」提唱

“Mastery for Service”の実践や促進のための「コミュニケーションワード」を策定。特に同窓会支部・団体とともに、ムーブメントを広く社会へ発信します。

「サービス・アクティビティ・プログラム」展開

これまで学内各所でおこなわれてきたボランティアなどの社会的貢献活動を、“Mastery for Service”の実践として学内外に「可視化」するサポート体制を整え、創立125周年記念行事で広く学内外に発信します。



献血実行委員会 阪神淡路大震災でのボランティア 東日本大震災でのボランティア

「関学らしい研究」を促進する貴重資料の購入

「「関学らしい研究」で世界的拠点となる」というビジョンの実現のためのひとつとして、「フォックスウエル文書」を購入します。

表彰制度「関西学院賞」創設

“Mastery for Service”を体現する世界市民として活躍する人(団体)を、「めざす人間像」の7項目(世界への視野、他者への思いやり、社会改革の気概、高い識見と倫理観、確立した自己、大きな志、行動力と存在感)を基準に選考し、「関西学院賞」として表彰します。

時代を超えて もっと、つながる

「関西学院 歴史出版物」作成

- 「「関西学院事典」改訂増補版」
- 「写真で見る関西学院の125年」



原田の森キャンパスの校舎起工式



上ヶ原校地起工式



ベーツ院長の倫理学講義

関西学院博物館の開設

関西学院博物館を開設し、その一部に「関西学院の歴史」常設コーナーを設けます。

- 「関西学院の歴史」常設コーナー
- 「神戸原田の森」のキャンパス・ジオラマの作成
- 「ヴォーリス建築」展



原田の森キャンパス



ウィリアム・メレル・ウォーリス



国登録有形文化財の時計台

もっと、つながるために

記念行事[2013年4月~2015年3月]

ALL K.G.ファミリー(学生・生徒・児童・園児、保護者、卒業生、校友、教職員)や社会、地域の皆様等が参画。建学の精神を共有・確認し、一体となった各種の記念行事を行います。

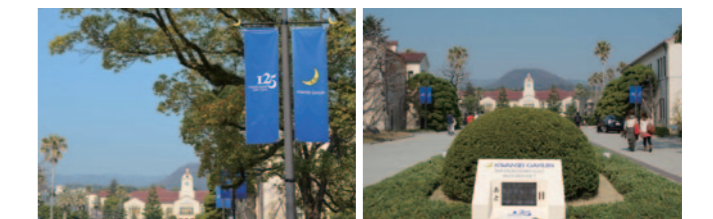
- 学術行事 ●文化行事 ●校友行事(同窓会・後援会)
- スポーツ行事 ●学生行事

記念式典[2014年9月28日(日):創立記念日]

125周年記念講堂にて実施します。その他、各キャンパスでのセレモニーも検討中です。

周年事業における広報展開

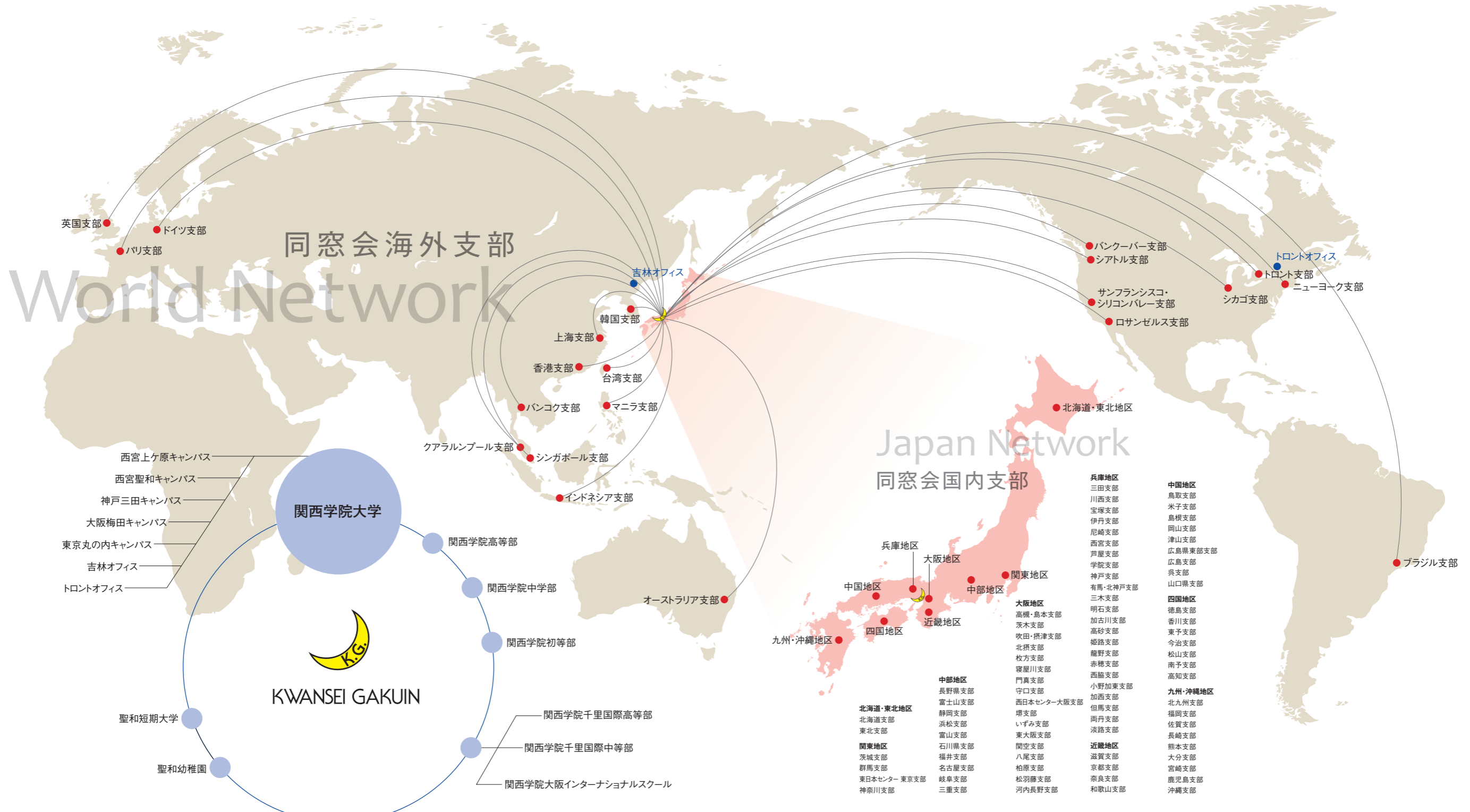
関西学院のブランド戦略に基づく広報を、創立125周年記念事業でさらに推進。「世界市民」をメインのキーワードとし、広報展開しています。



関西学院の世界市民ネットワーク

世界中どこへ行っても関学ファミリーの絆がある。

これは、「Mastery for Service」を体現する世界市民」の育成をめざす関西学院にとって、大きな強みです。



関西学院

1889年、アメリカ人宣教師ウォルター・ラッセル・ランバースにより神戸に開校。
現在では幼稚園から大学(11学部)・大学院(13研究科)まで擁する総合学園へと成長し、
2万人を超える学生・生徒・児童・園児が学んでいます。

- 西宮上ヶ原キャンパス(兵庫県西宮市)
関西学院大学大学院
(神学、文学、社会学、法学、経済学、商学、人間福祉、言語コミュニケーション文化、司法、経営戦略)
関西学院大学
(神、文、社会、法、経済、商、人間福祉、国際)
関西学院高等部、関西学院中学部
- 西宮聖和キャンパス(兵庫県西宮市)
関西学院大学大学院(教育学)、関西学院大学(教育)、聖和短期大学、聖和幼稚園
- 神戸三田キャンパス(兵庫県三田市)
関西学院大学大学院(総合政策、理工)、関西学院大学(総合政策、理工)

- 宝塚キャンパス(兵庫県宝塚市)
関西学院初等部
- 千里国際キャンパス(大阪府箕面市)
関西学院千里国際中等部、関西学院千里国際高等部
関西学院大阪国際ナショナルスクール
- 大阪梅田キャンパス(大阪府北区)
- 東京丸の内キャンパス(東京都千代田区)
- 吉林オフィス(中国吉林省)
- トロントオフィス(カナダ オンタリオ州トロント市)



西宮上ヶ原キャンパス



神戸三田キャンパス



西宮聖和キャンパス